

# 鳥取市立病院の治療食

栄養管理部 山本 千幸

H30.2.15 モーニングレクチャー



1.治療食の紹介

2.病院食の課題

3.これからの病院食とは

4.栄養食事指導について



# 院内約束食事箋及び食品構成表

平成27年6月改正

鳥取市立病院

## ◇潰瘍食（急性・回復・慢性期）◇

①胃粘膜を庇護する食事

②栄養低下をきたさないよう、栄養価の高い食品を  
変化に富んだ献立で提供

③消化の良い食品、調理法を用いる

## ◇肝臓食（急性・回復・肝不全期）◇

①十分なエネルギー補給

②良質なたんぱく質、リノール酸の多い脂肪摂取

③各種ビタミンの補給

# ◇膵臓食（急性・回復・慢性期）◇

## 急性期

①糖質を中心とした流動食から開始

②脂質制限

③消化の良い食品を中心に

◇腎臓病（B・C・腎不全期）◇

◇透析食◇

①適正なエネルギー

②たんぱく制限

③塩分制限

④水分制限

# ◇心臓食◇

①塩分制限

②肥満予防

③良質なたんぱく質の摂取

④水分制限



◇糖尿食◇

◇糖尿病性腎症◇

①エネルギー制限

②たんぱく質、糖質、脂質量の適正化

③各種ビタミン、ミネラルの摂取

◇痛風食◇

◇貧血食◇

◇妊娠高血圧食（妊娠中毒症）◇

◇脂質異常症食◇

◇小児腎炎／ネフローゼ食◇

# ◇ 経腸栄養（濃厚流動食） ◇





# ◇嚥下調整食◇

学会分類に基づき  
摂食嚥下機能に合わせた  
食形態を提供

ゼリー食  
きざみあんかけ食



# 病院食の課題

- ・ 制限することに配慮が集中している
- ・ 高齢者食対応は、術後食を応用しているため  
禁止食材が多い
- ・ 定期的な食事摂取基準の改定への対応

# これからの病院食

★引き算献立 ⇒ 足し算献立へ

★高齢者への配慮 ⇒ 少量で効率よく補給できる工夫

★時間栄養学等の応用・診療ガイドラインの確認

# 栄養食事指導について

## <消化器>

胃・十二指腸潰瘍

クローン病

潰瘍性大腸炎

急性・慢性肝炎

肝硬変

ウィルソン病

閉塞性黄疸

急性・慢性膵炎

## <循環器>

心不全

心筋梗塞

(高血圧性心不全)



## <代謝>

高度肥満症 (BMI  $\geq 30$  肥満度40%以上)

脂質異常症

(LDL-C  $\geq 140$ mg/dl HDL-C  $< 40$ mg/dl TG  $\geq 150$ mg/dl  
のうちいずれか)

痛風

糖尿病

## <腎臓>

急性・慢性腎不全  
ネフローゼ症候群

## <貧血>

鉄欠乏性貧血  
(Hb  $\leq 10$ mg/dl)

## 2016年度診療報酬改定

### 「栄養食事指導の対象及び指導内容の拡充」

「がん」「摂食・嚥下機能低下」「低栄養」も対象

個々に寄り添い、治療継続やQOL向上へ寄与する  
効果的な指導（相談）を実施する

# 『 栄養治療 』

病態に最適な栄養管理を実施し  
早期治癒へ